

**【全体の概要】**

正答率は、県平均とほぼ同じ程度である。

○到達度分布では、「十分達成」は県平均とほぼ同じ程度であったが、「要努力」は県平均を大きく下回った。

○観点別正答率では、「話す・聞く」「読むこと」「知識・理解・技能」は県平均を上回った

●観点別正答率では、「書くこと」は、県平均を大きく下回った。

○無回答率は、県平均を大きく下回った。

|                    | 分析の結果・本校の課題   | 改善に向けた具体的取り組み   |
|--------------------|---|---|
| 話すこと・聞くこと          | <p>正答率は県平均を大きく上回る。</p> <p>●「相手の場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話す(敬語)」は県の正答率と差がなく、十分達成からは大きく下回っている。</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の場に応じた言葉(敬語)を選択して使えるように、授業では単元として取り扱うだけでなく、様々な教材を学習していく中で、また日常生活の様々な場面でそのつど適切な言葉を考えさせる場面を作る。</li> </ul>                    |
| 書くこと               | <p>正答率は県平均を大きく下回る。</p> <p>●「材料を分類、整理して文章を構成することができていない。</p> <p>●文章の構成を考えながら書いた文章を推敲し、相手にわかりやすい文章を書くことに対する苦手としている。</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題として取り組んでいる新聞コラムの視写を今後も継続して行い、まずは他人の文章を書いていくなかで、文章の組み立て方や相手にわかりやすい文章にするための工夫を知り、自分の言葉で相手にわかりやすい文章を書くことの手がかりとさせる。</li> </ul> |
| 読むこと               | <p>正答率は県平均とほぼ同じ程度ある。</p> <p>●「目的に応じて必要な情報を読み取る」ことや「文章に表れているものの見方や考え方」を捉えることはできているが、「登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読む」ことはできていない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>説明的な文章よりも、小説や物語に対するの苦手意識がうかがえるので、小説などの教材ではじっくりと読み込み、自身の経験や気持ちに照らし合わせたり、主人公の立場で気持ちを考えさせたりするなど、心情面に重きを置いた授業を行う。</li> </ul>     |
| 知識・理解・技能<br>言語に関する | <p>正答率は県平均をやや上回る。</p> <p>●漢字の読み書きはできているが、文法では文の成分について理解が不十分である。</p> <p>●古文の領域では歴史的仮名遣いを正しく現代仮名遣いに直すことができていない。</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>既習内容の文法や古文も、時がたつと忘れてしまっているので、様々な教材、場面で反復学習を行う。</li> <li>漢字や語句などの言語についても、毎日の宿題や繰り返し小テストを行うことにより定着を図る。</li> </ul>              |

**【全体の概要】**

正答率は、県平均をやや下回る。

●到達度分布では、「十分達成」「おおむね達成」県平均とほぼ同じ程度であるが、「要努力」は県平均を大きく上回った。

●観点別正答率は、「技能」「知識理解」が県平均を大きく下回った。

○無回答率は、県平均を大きく下回った。

|              | 分析の結果・本校の課題  | 改善に向けた具体的取り組み   |
|--------------|--|---|
| 数学的な考え方      | <p>県平均を大きく上回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「平均の求め方を正の数、負の数を用いて説明する」と「資料の傾向を的確に捉える」ことができるという問題の正答率が低い。</li> <li>●算数的な考え方から数学的に考えて解決することを苦手としている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長い文章を読み取りながら、必要な情報を取り出して、問題解決する必要がある。授業では、必要な情報を丸で囲ませたり、下線を引かせたりする。また、その必要性や有用性を理解させるようにする。</li> <li>・グループ活動を取り入れた授業や、定期テストや課題で同様の問題を取り扱う。</li> </ul>   |
| 数量や図形についての技能 | <p>県平均と同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「比例の関係をグラフに表す」、「柱体の表面積を求める」、「有効数字を使って近似値を表す」問題の正答率が県平均を大きく下回っている。「関数」領域に苦手意識が見られる。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算、技能を再確認し、繰り返し練習や習得させるための時間を確保する。授業の最初に計算小テストを行い、単元終了後に中テスト(単元テスト)を行う。</li> <li>・週末課題として計算課題に取り組ませる。また、定着が不十分な生徒には、昼休みや放課後を利用した補充指導を行う。</li> </ul> |
| 数量や図形の知識理解   | <p>県平均を大きく下回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「自然数の意味を理解している」「数の大小関係を理解している」「作図の方法について理解している」問題の正答率が県平均を大きく下回っている。特に「図形」と「関数」領域が十分に定着していない生徒が多い。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する良い習慣を確立させるとともに、個別指導の機会をできるだけ設定し、生徒の意欲を高める。</li> <li>・授業では教科書に下線を引かせ、週末課題や定期テストに数多く出題することにより理解させる。</li> </ul>                                      |

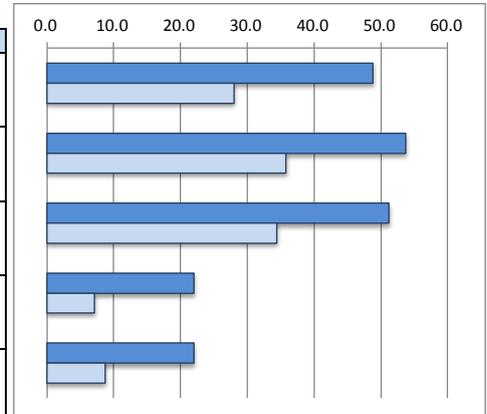
◆平成29年度佐賀県学習状況調査<<8年生 意識調査>> 小城市立小中一貫校 芦刈観瀾校 中学部

全体の概要

- ・各教科の学習が好きである、社会に出たときに役に立つと考えている生徒の割合はおおむね高い。
- ・基本的な生活習慣の定着に課題がある生徒が多い。また、項目によるばらつきがある。
- ・学習時間と余暇時間のバランス、過ごし方について指導・支援が必要である。

①県と比較して数値が高い項目

|    | 項目   | 差    | 本校   | 県    |
|----|--|------|------|------|
| 66 | 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日どれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。) 6 全くしない              | 20.8 | 48.8 | 28.0 |
| 68 | 新聞やテレビ、インターネットのニュースを読んだり見たりしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含まれます。) 1 よくする      | 17.9 | 53.7 | 35.8 |
| 62 | 普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか。 4 午前11時以降、午前0時より前  | 16.8 | 51.2 | 34.4 |
| 64 | 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。 1 4時間以上  | 14.9 | 22.0 | 7.1  |
| 7  | 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。) 6 全くしない | 13.3 | 22.0 | 8.7  |



分析

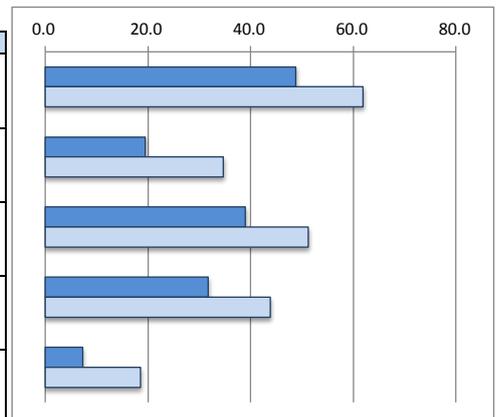
- ・特に社会の学習、社会的事象に興味関心が高い生徒が多い。
- ・睡眠時間が11時以降の生徒の割合が高く、睡眠時間が短い。また、平日の過ごし方でテレビゲームに長時間かける生徒の割合が高く、余暇時間の過ごし方に課題がある。
- ・読書習慣がない生徒の割合が高い。
- ・家庭学習の習慣が全くない生徒が一定数いる。

取組

- ・教育活動全体を通して、身のまわりの事象と関連した学習活動を取り入れる。
- ・学習時間と余暇時間の過ごし方について、生徒の実態に応じて個別に声かけ等を行い、生活習慣の指導を行う。
- ・家庭教育指針や通信等を通して家庭へ啓発し、学校と家庭と連携して基本的な生活習慣の定着を進める。

②県と比較して数値が低い項目

|    | 項目   | 差    | 本校   | 県    |
|----|--|------|------|------|
| 15 | 苦手な教科の勉強をしている。                               | 19.8 | 48.8 | 61.9 |
| 19 | 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う。 | 15.2 | 19.5 | 34.7 |
| 1  | 学校に行くのは楽しいと思う                                | 12.2 | 39.0 | 51.2 |
| 41 | 読書は好きだ                                       | 12.1 | 31.7 | 43.8 |
| 11 | 自分で計画を立てて勉強をしている                             | 11.3 | 7.3  | 18.6 |



分析

- ・小学校からの継続的な取り組みにより、自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることに対する苦手意識は低い。
- ・読書を好んで親しむ生徒の割合が低い。
- ・自分で計画を立てて学習したり、苦手教科の学習をしたりといった、学校の授業以外の学習時間が確保できていない。既習内容の反復学習と定着に課題がある。

取組

- ・引き続き学習活動全体を通して、自分の考えを説明したり文章に書いたりする活動を継続していくとともに、生徒一人一人が自分の興味関心に合う本を選択できるように働きかけ、読書の時間を継続して確保し、読書に親しませる。
- ・既習内容の予習復習や苦手教科の学習が学力向上へつながることを意識づけしていく。また、生徒の実態に応じて、学習計画の作成方法や家庭学習の方法を提示していく。